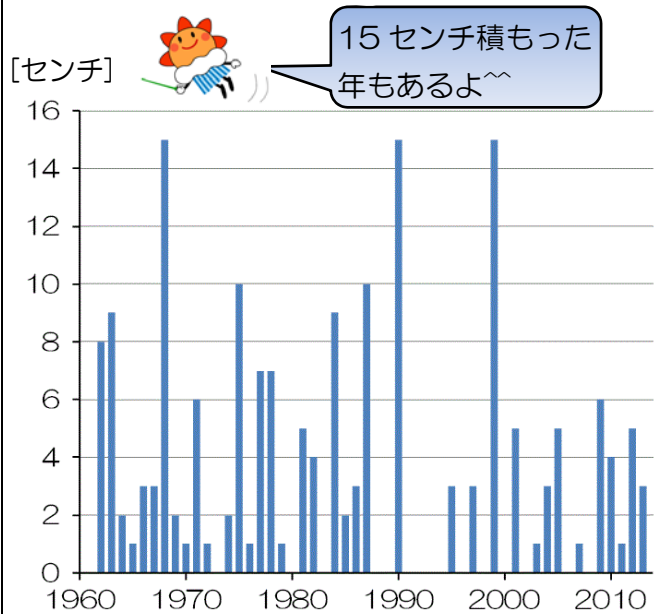


# 福岡県の大雪

## いちにち ゆき 一日で雪がどれくらい積もる?

## 福岡 でも雪が積もるよ!



福岡市では、過去30年平均すると、雪が降る日数は1年間に約17日で、そのうち一番つもった時の積雪の深さは約3センチになります。

雪国と比べると少ないと感じますが、雪に慣れていない地域では、少しの雪でも、すべて転んだりする人や、車の事故が増えて、私たちの生活は大混乱となる可能性があります。

福岡県では、平地で5センチの雪が降ると予想される時に、气象台が大雪注意報を発表します。天気予報をしっかりと確認し、雪に備えましょう。

福岡市で観測された積雪の深さ(センチ)の最大値(1961~2012年)。昔は、板の上にも積もった雪を直接定規で測るしかなかったけれど、今は自動で測る装置もあるよ。



2013年 平成25年 12月5日 木曜日

福岡管区气象台 〒810-0052  
防災調査課 福岡市中央区大濠 1-2-36

電話 092-725-3614 (記事)  
092-725-3600 (天気相談所)

メール [fk-kanku@met.kishou.go.jp](mailto:fk-kanku@met.kishou.go.jp)  
(ご意見・ご要望はこちらまで)

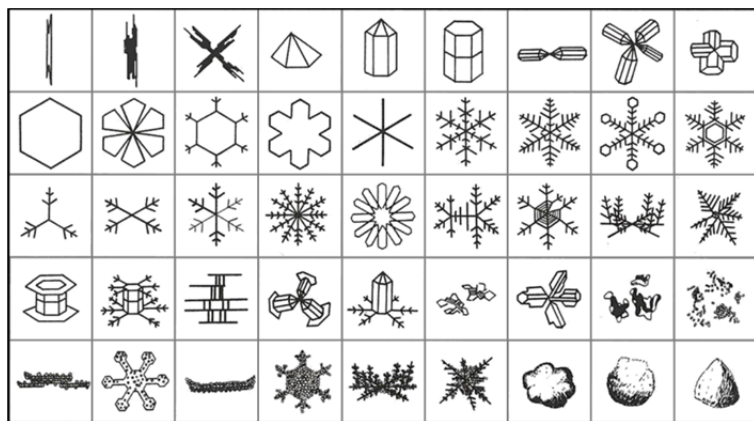
## 雪の結晶の形は無数にある!

## 天からの手紙、雪の結晶

雪の結晶は色々な形があり、同じ形のものはひとつもなく、形は無数にあるそうです。

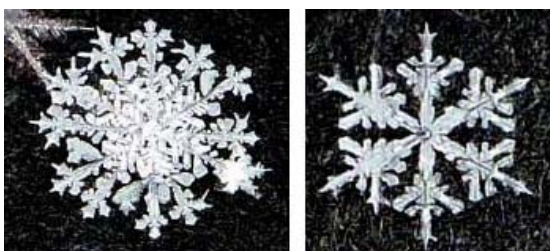
中谷宇吉郎博士は、雪の結晶の形は、空気中の温度と水蒸気の量で決まることを1936年に発見し、「雪は天から送られた手紙である」という有名な言葉で、このことを説明しています。

洋服に付いた雪を見てみると顕微鏡を使わなくても自分の目で結晶を見ることが出来るかもしれせん。注意深く観察してみましょう。



中谷宇吉郎「Snow Crystals」(1954)

から引用した雪の結晶



南極の昭和基地で撮影された雪の結晶

## <<お天気 Q&A>>

Q: 初冠雪ってなに?

A: 雪が山頂付近に積もり、白い冠のように見えることを冠雪といいます。夏が終わり、气象台から初めて見えたときを、その山の初冠雪といいます。

とても寒い日には平地は雨、山の上では雪ということがあります。福岡市の南側に位置する脊振山の初冠雪は例年12月8日頃、今年(ことし)は11月19日でした。

また、福岡市の初雪は例年12月15日頃、今年(ことし)は11月28日でした。

今年(ことし)は寒い冬が来るのが早かったみたいです。

### 気象情報へのアクセス

パソコン・スマホから

気象庁 検索

携帯から

防災情報 検索

**注意**・足元が滑りやすくなるので転倒に注意! 雪が固まって凍るともっと滑りやすくなる!

・ポケットに手を入れていると急な動きに反応できない! 手はポケットから出そう!

・車も滑りやすくなるため事故が増えます・・・車道から離れよう!

## 北海道で「雪だるま」は作れない!?

福岡に降る雪は、雪に含まれる水の量が多いため、雪の粒が大きくなり、ベチャッとした感じの雪になります。一方、北海道では、福岡に比べて気温が低いことから、雪に含まれる水の量が少なくなるため、雪の粒自体が小さくサラサラとした感じの雪になります。

そのために、気温がとても低い地域では「雪だるま」が作れないことがあるそうです。北海道に行ったら雪だるまを作ってみよう!

